

令和8年7月31日(金)

【編集】役場プロジェクトチーム

【発行】鮫川村教育委員会

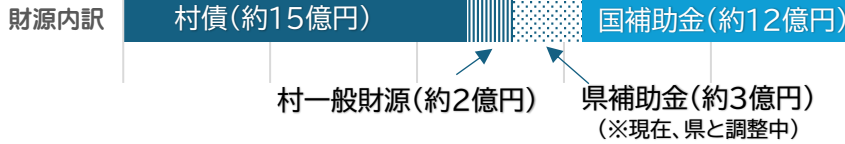
【電話】0247-49-3151

義務教育学校通信

学校建設のお金は大丈夫？

義務教育学校建設に関して、「財源は大丈夫なのか？」や「村の借金が増えて将来世代に負担が掛かるのではないか？」という声をよく耳にします。今回は現段階での財源の方針を皆様にお知らせします。

義務教育学校建設費(総額約32億円)



「村債」とは？

道路や学校を作るときには、たくさんのお金が必要です。でも、村が持っているお金だけでは足りないことがあります。そんなとき、村は「あとできちんと返しますから、お金を貸してください」と言って、国や銀行からお金を借ります。この「**村の借金**」のことを**村債**といいます。

建物建設だけでなく、設計や周辺整備も含めた村債は約15億円ですが、そのうちの約7割が地方交付税として村の歳入に入ります。

今回の村債は村の宝である子どもたちが安心して勉強・運動するために必要な投資であり、かつ大変有利な借金であると言えます。

村債には利子が付くので、最終的に村が払うお金は7.2億円くらいになる見込みです。正直、安い買い物ってわけではないですね。でも、これからの世代に負担を重くしすぎない一線を計算して出した数字です。逆に言うと、これから物価が上がって建設費が膨らむことがあれば、計画を練り直さなければいけません。

村は、未来の子どもたちがツケを回さないように気をつけながら、限られた予算の中でいかに良いものを作るか、トコトンこだわって進めていきます！

こどもセンターはどうなるの？

この計画が立ち上がった当初はこどもセンターも同時に建設する予定でした。しかし、こどもセンターは令和35年まで耐用年数があり、十分に使用可能であること、未就学児

が小中学生と近い距離で生活する上での課題解消にはもう少し検討する時間が必要なことなどを理由に、段階整備にしようとして村が決めました。

これは、こどもセンターを整備しないということではなく、しっかりとみんなで話をして課題を解決し、一番よい時期にこどもセンターを整備しようとの考えから決められたことです。ご期待いただいていた関係者の皆様には大変申し訳ありませんが、どうかご理解いただきますようお願いいたします。



こどもセンターで楽しく遊ぶ園児たち

次号では、現在の進捗状況や、「学校を建設したら税金が上がるのか？」という疑問に答えます。

教育長の話

鮫川村の子どもたちの未来のために、私たちは小中学校を一つにした「義務教育学校」を青少年広場に建設します。

9年間、同じ学び舎で過ごすことで、子ども一人ひとりに寄り添った丁寧な指導が可能になります。また、村の豊かな自然を活かした「さめがわ学」や、地域の方々との温かい交流を通じ、この地ならではの学びを深めてまいります。

少子化や校舎の老朽化といった課題を抱える現在、子どもたちが安心して学べる環境を整えることは待ったなしの状況です。令和9年度の着工、そして11年度の開校に向け、準備を加速させています。

大切なのは「どんな学校を創るか」です。保護者や先生方の声を大切に、皆さんと共に、子どもたちが誇りを持っている新しい学校を築いてまいります。

鮫川村教育委員会教育長

藤田 充

児童・生徒に聞きました！

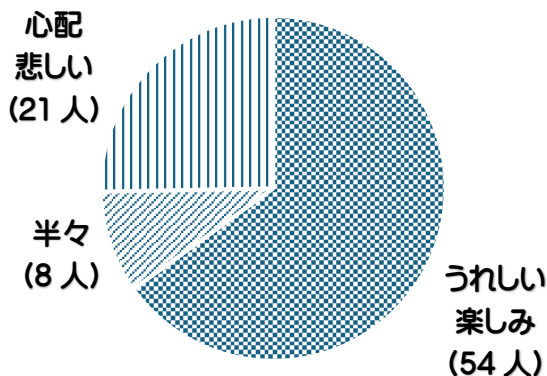


小中学校の児童・生徒にアンケートを取りました。

- ① 義務教育学校建設について、率直にどのような思いがありますか？
- ② 新しい義務教育学校にどんなことを期待しますか？

まずは小学校の結果を見てみましょう。

義務教育学校建設への率直な思い



鮫川小学校アンケート結果集計（83人が回答）

小学生は全部で83名の児童が回答してくれました。「うれしい・楽しみ」という声が多い反面、慣れ親しんだ校舎から離れることが悲しいという意見も見られました。その中でも特に印象的な意見を下に紹介します。

◆「うれしい・楽しみ」などの意見

○中学校3年生でできるので、最初の卒業生になりたい。色々な行事をたくさんの人とやりたい。全部が楽しみ。

○よりよい生活が送れる学校にしたいという思いがあります。みんなが楽しく行ける学校にできることを期待しています。☆しょくどうを作ってほしいです！

○自分たちに教えてくれた先生とまたお会いできたりするのが楽しみです。一緒に勉強したり遊びたい。楽しく学校生活を送りたい。とても楽しみです！

◆「心配 悲しい」などの意見

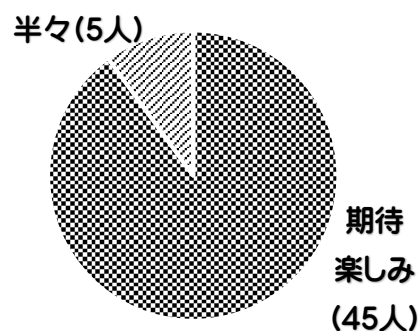
○今の学校がなくなったら、ずっといたのにさびしい。今の校歌がなくなつて、せつかくおぼえたのにちがうのにかわつちやうのはさびしい。

○この学校のおもいでがなくなるのがかなしい。

うれしい・楽しみなどの意見は前向きでももちろん素晴らしいですが、心配・悲しいなどの意見も学校や友達への愛情を感じられて素敵ですね。楽しみにしてくれている児童にはしっかりその期待に応え、心配している児童の気持ちにもしっかりと寄り添って課題解決できるよう、村も気を引き締めて取り組みます！

続いて中学校の結果です。

義務教育学校建設への率直な思い



鮫川中学校アンケート結果集計（50人が回答）

中学校は、反対意見はなんと「0」でした！それではさっそく印象的な意見を見てみましょう。

○にぎやかで楽しそうだととてもいいと思う（行事とかイベント）。学力がupすることを期待しています。

○全て統一することで、小学生や中学生同士の交流が増え、村に活気があふれるのではないかと考えると、とても楽しみです。

○今、中学校に2年間と少しいるけど、古い学校で居心地が悪いので校舎が新しくなるのはいいと思います。また、小学校・中学校が一緒にあるので関わりも深まり、進学の不安がなくなると思うので、今後いいなと思いました。僕たちがそこにいけないのは少し残念だけど、完成が楽しみです。

編集後記

私が小学校を卒業する年に西山小学校が建築され、きれいな新校舎に感動したことを覚えています。あれから30数年、今では特別養護老人ホームに機能を変えました。先生や友達の顔が思い出され、励まされます。



村ホームページ
義務教育学校等整備

○鮫川村の大人たちが鮫川村の将来を真剣に考えて村をより良くしようとしているのは良いと思う。これで村の教育の質が向上することを期待している。

○小・中学校が一緒になることで交流が深まると思います。あとは学校がきれいになると思います。学校がきれいだと明るく生活できる気がする。

中学生からは喜びや期待感がビシビシ伝わってきます！また、後輩への気遣いや村への愛があふれており、ほんわかしますね。必ず皆さんの期待に応えます！